

所沢にプロオケ定着へ

所沢市在住の演奏家夫妻が、同市をプロのオーケストラ「クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団」の拠点として盛り上げようと活動している。9月には、市民文化会館「ミューズ」で3回目のコンサートを開催し、市民へのクラシックの浸透を図る。

【藤本 天】

在住の音楽家夫妻

オケは、同市出身の心に演奏している。バイオリン奏者、三戸 所沢を拠点に考え、妻の小沢洋介さんと、チェロ奏者、小沢洋介さん夫妻が中心。ともにザルツブルク（オーストリア）で長く活動した後、1993年に所沢に移住し、8人前後からスタートし、今は70人規模に成長。東京都内を中

クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団

来月8日「ミューズ」で演奏会



今年2月の所沢市民文化センター「ミューズ」でのコンサート。小沢洋介さん(前列中央)がチェロを弾きながら指揮をしている＝クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団提供

「音練り上げるのは中小都市」



所沢でのプロのオーケストラ定期に取り組む小沢洋介さん(右)と小沢洋介さん(左)所沢市中

が求められていると、一方、頭が痛いの

が練習場の確保だ。演奏会前に1週間、議論、練習をして、曲への理解を深めることが必要だから。演奏者の技量も高く、小沢さんがチェロを弾きながら指揮をしながら、曲への理解を深めることが必要だから。演奏者の技量も高く、小沢さんがチェロを弾きながら指揮をしながら、曲への理解を深めることが必要だから。演奏者の技量も高く、小沢さんがチェロを弾きながら指揮をしながら、曲への理解を深めることが必要だから。